

お知らせ

6月より毎月の資料の郵送は行いません。班会議で資料を受け取って頂き、その際に組合費を納入してください。

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第216号 定価30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp

朝志和

仲間の組合に対する理解を深め

3000人の支部を早期に回復させ

仲間の要求と運動で 建設産業の民主化を



第19回定期大会の様子＝朝霞市産業文化センターにて

5月21日(日)朝霞市産業文化センターで第19回支部定期大会が開催され、代議員38人・支部役員18人・特別代議員16人の72人が参加しました。今大会は小会議室が抑えられなかったため、分科会が行わず、全体会のみで開催となりました。田澤実行委員長のあいさつ、松原資格審査委員長の報告のあと、議長に植竹繁昭さん(黒目川)、書記に田野村健雄さん(さくら草)を選出し、議事に移りました。

丸山支部長からあいさつのと、鈴木常任中央執行委員、松本北足立南支部地区労議長の来賓あいさつと続きました。田野村書記のメッセージ紹介のあと、上菌書記長より情勢の特徴と新年度の運動の重点の提案があり、小川財政部長から決算報告、西・森田・中村監査による監査報告があり、む新年度予算案の提案があり、賃金労働対策部、



あいさつをする丸山支部長

早期より大会参加にお集りの皆さん、お疲れ様です。コロナによりなかなか取組みができない一年でしたが、打上式など少しづつ組合行事もできるようになってきました。今年はいんボイス制度、働き方改革の建設業への導入など私たちを取り巻く環境も大きく変わります。また、政府はマ

大きく変革する環境 丸山支部長あいさつ

技術住宅対策部の提案と続き、昼食休憩となりました。午後は社会保障対策部、共済部、組織部、次世代対策部、教育宣伝部の提案がされ、成田青年部副部長から「三役体制を確立し、活動を行ってある青年部」と西次世代対策部長から「次世代対策部員による班会議訪問行動」の報告がありました。上菌書記長による討論のまとめのあと、亀田選挙管理委員長の進行により信任投票となりました。6月1日から朝志

た。続いて根岸分会と志木分会が教宣表彰、分会推薦の個人表彰があり、退任される栗田さんから「組合には楽しかった記憶が沢山あります。次年度も分会長として頑張ります」とあいさつがあり、小川さんから「19歳で電気屋になり、親方の紹介で東京土建に加入しました。その後、埼玉土建に移り、皆さんのご協力を頂きながら43年間支部役員をやってきました」とあいさつがありました。6月1日から朝志

「組合費納入は、班会議で行う」ことを徹底し取り組んできました。「毎月連絡しないと班会議に出来ない」と言いながら連絡をしている役員さんの苦労がありながら、この1年でコロナ禍以前の組合費納入率に戻っています。また、分会財政はコロナ禍の3年間で多くなっています。本・支部では統一したルール作りには至っていませんが、最低ルールとして「本部大会で確認していること」を守りながら分会活動の運営に取り組みます。

新年度も引き続き組合費は班会議で納入することを呼びかけていきます。直属・企業へは、納入ルールを理解してもらう努力をし、期日までの納入を徹底します。また、未納者への働きかけは財政部長だけでなく、分会・班役員が合同で取り組みます。



小川財政部長

財政活動について

財政部



退任する栗田さん(左)、小川さん(右)

和支部に赴任してくる山本さん・門田さんのあいさつと、選挙結果の報告があり、全員が信任されました。新役員を代表して丸山支部長から就任のあいさつ、藤原副支部長による大会決議の提案、名雪副支部長によるスローガン確認、西常任執行委員の音頭により若い参加者が前に集まり、団結ガンバローで終了しました。

働くルールの前進に向け

賃金労働対策部

ゼネコンやハウスメーカーなどの下で働く建設従事者の実態把握と要求の実現に向け支部資本従事者の会は、現場の情報提供と、現場で組合の宣伝ができる従事者の会を
目指し、あらためて登録者の核に、新しい会員の募集を行います。

現場調査行動と公契約条例に向けた運動では、GOGO行動は夏と冬を中心に2回、現場訪問と地元企業懇談や組織内事業所の訪問行動に取り組みます。引き続き各企業



相浦賃金対策部長

仕事と経営を守る取組み

技術住宅対策部

第46回ふれあい住宅デーは、感染対策を講じつつ飲食などに制限を設けない一日開催とします。

包丁研ぎ、まな板削りだけでなく「住宅困りごと相談」を前面に押し出し、来場者に埼玉土建をアピールできるように「プラス2企画」に取り組みます。例年8月に行っている市長懇談の際に自治体を手渡せるようにウォッシングも行っていきます。



水野技住対部長

社会保障を守るたたかい

社会保障対策部

新年度は5月から集団健診を開始し、予備日は3月まで計19回設定します。多くの仲間に検査項目が充実している埼玉土建の健康診断受診をすすめ、健康状態の把握、二次健診の重要性、早期発見・早期治療を広げたいため、新年度も特定健診受診率70パーセントの目標を設定していきます。また、病院から分会受付再開の要請があったため、部長会議で討議のうえ、再開していきます。



渡利社保対部長

共済活動の強化・発展を

共済部

6月より通常の班会議が再開されるため、総合共済の班審査・支部審査を再開します。また、支部審査は支部部長・分会部長（毎月2人ずつ）と担当書記で行います。

共済推進は第1推進期間を「自動車共済見直し」「火災・地震共済」、第2推進期間を「自転車保険サイクルン」「こくみん共済COOP」の普及・加入促進に取り組みます。目標は本部の基準を設定していきます。また、本部の紹介グッズを有効に活用していきます。



高橋共済部長

組織を強化するたたかい

組織部

朝霞・志木・和光市の人口は都心に近いこともあって3市とも増え続けています。引き続き「頼りになる組合」を前面に、繋がりのある仲間への声掛けをし、1パーセント実増を目指します。

また、組合活動の要となる「班会議」をコロナ禍前の班会議に戻していきます。資料などの配布物は班会議でお渡しして頂き、共済審査は班を基本に行っていきます。

次世代部の方針に沿ってすすめることを基本



名雪組織部長

次世代からの活動家作り

次世代対策部

全分会で部長・副部長が選出できるように呼びかけていきます。また、部長・副部長を年度途中でも選出できるように部長・副部長以外でも49歳以下の組合員なら「試しに参加」できるように工夫をしていきます。名前だけの選出にならないよう顔繋ぎをはかり、毎月1回会議を開催していきます。

新年度も引き続き、秋の拡大月間「次世代訪問」を行い、直接顔をあわせ、対話ができるようにしていきます。対話の



西次世代対策部長

教育宣伝と学習活動

教育宣伝部

支部機関紙の定期発行を行います。現状は2面建てで発行し、コロナ禍以前のように「支部行事」「分会行事」が旺盛にでき、記事が掲載できる時期を見計らって4面建てに戻します。新年号は22年と同様に郵送とします。新年号は組合の取組みやお知らせだけでなく、取材を行い紙面の充実を図ります。

全分会で分会ニュースを発行するため、援助を行います。必要に応じて



亀山教宣部長

第19回朝志和支部定期大会

役員一覧

支部長

丸山 勝己

副支部長

田澤 達好
名雪 正昭
藤原 忠夫

書記長

上蘭 晃勇

書記次長

井口 尚久
小須田 恵美

常任執行委員

相浦 信幸
植竹 繁昭
亀山 章
高橋 洋
西 慶晴

常任執行委員

水野 高
峯村 健次
渡利 成人

会計監査

中村 次男
西 静子
森田 十四男